

筆記問題 1 (2019 1-2) 骨子表 (R2 版)

問題	問題分析	課題と解決策	2次リスクとリスク対応	業務遂行必要要件
現状の分析 あるべき状態との差異	問題の発生原因	解決の方向性、すべきこと 課題は1つ 解決策は複数	解決策に共通する新たに生じるリスク (2次リスク) への対応	業務遂行に必要な要件。 技術者倫理、持続可能性の観点から述べる
<p><u>ハード整備の想定を超える災害に対し、「安全」でない現状</u></p> <p>1) ハード対策での限界が露呈</p> <p>2) 複合的に発生する災害への対応が不十分</p> <p>3) 既存インフラの老朽化対策が不十分</p> <p>4) 平野部への人口、生産手段、資産、情報の過度な集中</p> <p>5) 代替インフラが未整備</p>	<p>気象現象の激甚化、極端化 異常気象の常態化</p> <p>短期間に複数回発生する災害外力に対し抵抗できない</p> <p>想定内の災害外力にも安全が保てない</p> <p>被害とその影響が甚大化しやすい</p> <p>多重性、冗長性が確保できていない</p>	<p><u>方向性</u> ハード整備での対応には限界があるため、他の方法を併用する</p> <p><u>課題</u> ソフト対策の充実</p> <p><u>解決策</u> 1) 各種防災情報の発信、情報の高度化 (リスク情報も含める) 2) 早めの避難行動の呼びかけ 3) 最悪を想定した準備態勢の実施、態勢の強化 4) 情報通信網の整備 5) 気象観測の高度化</p> <p><u>他の課題</u> 1) 多重防御 2) 粘り強い施設の整備 3) 施設老朽化対策の推進</p>	<p><u>共通するリスク</u> 1) 情報が増加し、混乱が発生する (情報が正確に伝わらない) 2) 警戒情報に対する慣れの発生 3) 自己判断能力の喪失 (行政等他力に依存、自分で考えて行動しなくなる)</p> <p><u>対応策</u> 1) わかりやすい、伝わりやすい情報の発信 2) 災害・防災に関する啓発活動の実施と継続 3) 自らが考えて行動する訓練や啓発の実施</p>	<p><u>技術者倫理</u> 公益確保</p> <p><u>持続可能性</u> 国土強靱化 (ハードソフト一体)</p> <p>1) リスクコミュニケーションの実施 (ネガ情報も含めた情報を正確に伝える)</p> <p>2) 複数の情報伝達手段の確保 (ICT とアナログ併用)</p> <p>3) 地域コミュニティ構築と維持 (顔が見える関係の構築と維持)</p> <p>4) 防災訓練の意図、目的の明確化 (惰性で実施しない)</p>